

### 千種高生に栄栗市ゴルフ協会 シューズとグローブ贈る



贈呈された新品のシューズとグローブを使い、パター練習に励む千種高校生＝千草カントリークラブ

授業でゴルフを学ぶ千種高校(栄栗市千種町千草)の1年生10人に、栄栗市ゴルフ協会が新品のシューズとグローブを贈呈した。生徒たちは早速、地元の千草カントリークラブのコースに出てパター練習に励んだ。

同協会は青少年育成を目的とした県ゴルフ連盟の助成を受け、シューズは6年前から、グローブは4年前から生徒たちに提供している。

土居正栄会長(75)は「ゴルフは年を重ねても楽しめるスポーツ。技術を磨き、ゴルフを好きになっほしい」と呼び掛けた。

中学時代にも打ちっ放しを体験したことがある森諒太郎さん(15)は「いただいた用具は3年間、大事に

使う。ホールインワンを達成できるよう頑張りたい」と意気込んだ。

(村上晃宏)